

石聴生第 525 号

令和 7 年 6 月 9 日

石狩市男女共同参画推進委員会 委員長 様

石狩市長 加藤 龍幸



第 5 次石狩市男女共同参画計画の策定について（提言依頼）

本市では、男女共同参画社会の実現に向けて平成 12 年に第 1 次男女共同参画推進計画を策定し、以来継続して様々な事業に取り組んでいるところです。

今般、現行計画である第 4 次計画の期間が令和 7 年度で終了することから、社会情勢の変化等に対応した適切な施策を推進するため、令和 8 年度から新たに第 5 次計画を開始する予定です。

つきましては次期計画の策定にあたり、貴委員会よりご提言賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

令和7年9月26日

石狩市長 加藤 龍幸 様

石狩市男女共同参画推進委員会
委員長 高嶋 真之

第5次石狩市男女共同参画計画の策定について（提言）

令和7年6月9日付け石聴生第525号で依頼のありました標記の件について、男女共同参画に関する市民意識調査を通して寄せられました多くの市民の意見を踏まえ、当委員会で慎重に検討を行った結果、下記のとおり取りまとめましたので提言いたします。

記

1. 審議における留意点

提言内容の審議にあたり、市の計画策定方針として推進委員会が留意した点は下記の5点になります。

- (1) 男女共同参画社会基本法の規定による市町村男女共同参画計画として、また配偶者暴力防止法、困難女性支援法、および女性活躍推進法の規定による市町村計画として位置づけること
- (2) 就業や生活のあり方等、社会構造や意識・価値観が変化するなか、共同参画社会の形成促進、女性の活躍促進、安全・安心な暮らしの実現などの視点から施策の方向性を検討すること
- (3) 市民意識調査等を反映させるなど、市民が必要と感じていることを踏まえること
- (4) 国の第6次男女共同参画基本計画（現在策定中）や「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」等との整合を図りながら、本市の実情に合った施策の内容を検討すること
- (5) 第11次男女共同参画推進委員会からの意見、提案を踏まえること

2. 石狩市における男女共同参画の現状と課題

令和7年度に実施した男女共同参画に関する市民意識調査から、以下に示す項目について現状と課題を確認しました。

- 少ない割合ではあるが男女ともDV被害を受ける、もしくは見聞きしており、どこにも相談しなかった人が多い。相談しても無駄だと思った人の割合は女性の方が高く、相談窓口も浸透しているとはいえない。
- 3割程度の人が職場等で何らかのハラスメントを受けるか、もしくは見聞きしている。
- 8割近くの人が、性的マイノリティの方々にとって暮らしにくい社会だと感じている。

3. 第5次計画への提言

石狩市における男女共同参画の現状と課題を受け、次の3点を重点的に取り組むよう提案します。

(1) DV相談窓口の浸透とハラスメント対策について

調査結果から、DV被害を受けても相談しなかった、しても無駄だと思ったという回答が多数みられました。相談行動の心理的、実務的ハードルを下げ、必要な人が安心して支援に繋がることができるよう、周知や体制に工夫が必要です。心のもやもや、困りごとから気軽に話すことができる相談窓口があることや、相談後はどういった支援が受けられるかを例示するなど安心して相談できることの周知等を工夫して行うよう提案します。また被害の自覚が乏しい方へ自らが置かれている状況がDVであるという気づきを促す啓発や、被害者への支援と並行してDVやハラスメントの加害行動抑止への取組みも重要です。

(2) 多様な性のあり方を尊重する社会の実現について

調査結果から、多くの人々が現在性的マイノリティの方にとって暮らしにくい社会だと感じていることがわかりました。多様な性のあり方を尊重する社会、ひいては誰もが暮らしやすい社会の実現のために、男女だけではない多様な性があることを知っていくことが大切です。性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくするため、広報いしかりをはじめとしたさまざまな媒体を活用するなど、学校、地域や家庭などを対象に多角的に性的マイノリティについての周知啓発の取組みが必要です。併せて令和7年度から始まったパートナーシップ宣誓制度の周知を引き続き行い、性的マイノリティに対する理解促進を図ってください。

(3) 計画等の表記について

これまで「男女共同参画社会基本法」の名称に従い、「男女」という言葉を冠した計画の策定や事業が実施されていますが、この名称を性別に関わらず誰もが暮らしやすいまちの実現を目指した施策を展開しようとするこれからの計画に相応しいものに改めることを提案します。

◇石狩市男女共同参画推進委員会委員名簿（第11次）

※役職・選任区分ごとに五十音順で掲載しています

役職	氏 名	選任区分	所属・肩書	期数
委員長	高嶋 真之	学識経験者	藤女子大学ウェルビーイング学部地域創生 学科准教授	1
副委員長	長濱 啓子	団体推薦者	北海道家庭生活カウンセラークラブ石狩地 区 副代表	1
	池本 敦	学識経験者	石狩市校長会	1
	森口 雅和	学識経験者	札幌市男女共同参画センター センター長	1
	石上 千里	団体推薦者	連合北海道石狩地区連合	2
	岩崎 真理子	団体推薦者	札幌人権擁護委員協議会石狩部会	1
	小原 江里	団体推薦者	石狩市 PTA 連合会	2
	酒井 妙美	団体推薦者	石狩商工会議所女性会 会長	1
	高橋 智美	団体推薦者	さっぽろレインボープライド実行委員会	1
	山崎 智美	団体推薦者	石狩市社会福祉協議会 係長	1
	椿 晃	一般公募		2